

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社インテージホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4326 URL <http://www.intageholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮首 賢治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)池谷 憲司 (TEL) 03-5294-7411
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	22,941	7.0	1,270	△7.5	1,469	7.2	1,008	10.3
29年3月期第2四半期	21,448	5.4	1,373	4.1	1,370	2.7	914	29.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 937百万円(17.4%) 29年3月期第2四半期 798百万円(△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	25.25	—
29年3月期第2四半期	22.90	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	37,731	23,886	62.8
29年3月期	39,067	23,771	60.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 23,679百万円 29年3月期 23,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期(分割前) (ご参考)	—	0.00	—	35.00	35.00
29年3月期(分割後)	—	0.00	—	17.50	17.50
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期(予想)の期末の配当については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	6.3	4,000	△6.3	4,300	△2.1	2,900	1.0	72.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	40,236,000株	29年3月期	40,236,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	290,120株	29年3月期	299,126株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	39,940,954株	29年3月期2Q	39,929,908株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は平成29年8月10日付で公表しました「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益、平成30年3月期(予想)の期末の配当、連結業績予想の1株当たり当期純利益及び発行済株式数(普通株式)については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日)におけるわが国経済は、日銀の金融緩和政策や政府の大型経済対策による財政支出などにより、企業・家計の両部門とも引き続き緩やかな回復基調となりました。

一方海外経済も総じて回復を続けているものの、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響や金融資本市場の変動など不安定な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、当連結会計年度からスタートした第12次中期経営計画において、グループ基本方針に「“Take the Initiative” ～データ活用の領域で先手を取れ～」を掲げ、更なる企業価値の向上を目指した、次世代サービス開発を加速させていくために、積極的な事業投資及びR&D活動を実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高22,941百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益1,270百万円(同7.5%減)、経常利益1,469百万円(同7.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,008百万円(同10.3%増)となりました。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

① マーケティング支援(消費財・サービス)事業

マーケティング支援(消費財・サービス)事業は、カスタムリサーチの既存調査及びインターネット調査、官公庁案件などが好調に推移し増収となりました。営業利益については、第12次中期経営計画において掲げているデータの価値向上およびサービス領域の拡大を目指すための投資を進めた結果、減益となりました。

この結果、マーケティング支援(消費財・サービス)事業の連結業績は、売上高14,806百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益460百万円(同15.1%減)となりました。

② マーケティング支援(ヘルスケア)事業

マーケティング支援(ヘルスケア)事業は、株式会社アスクレップにおける医薬品の製造販売後調査及び株式会社アンテリオにおけるプロモーション活動の評価サービスなどが好調に推移したものの、株式会社アンテリオにおいて既存サービスの商品価値向上のための投資を行ったほか前年まで発生していた大型案件の反動等の影響により増収減益となりました。

この結果、マーケティング支援(ヘルスケア)事業の連結業績は、売上高5,388百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は635百万円(同11.2%減)となりました。

③ ビジネスインテリジェンス事業

ビジネスインテリジェンス事業は、旅行業界をはじめとしてCG&S(※)及びヘルスケア業界において案件の受注が堅調に推移し増収増益となりました。

この結果、ビジネスインテリジェンス事業の連結業績は、売上高2,746百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益175百万円(同51.1%増)となりました。

※CG&S…Consumer goods and serviceの略で、消費財&サービスのこと

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,384百万円減少し、24,309百万円となりました。これは、仕掛品が803百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2,365百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、13,421百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が93百万円、リース資産(純額)が39百万円減少したものの、投資有価証券が348百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は1,336百万円減少し、37,731百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,456百万円減少し、10,543百万円となりました。これは、買掛金が776百万円、未払法人税等が466百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、3,302百万円となりました。これは、リース債務が28百万円減少したものの、退職給付に係る負債が33百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は1,450百万円減少し、13,845百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、23,886百万円となりました。これは、資本剰余金が184百万円減少したものの、利益剰余金が304百万円増加したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動にて1,781百万円獲得し、投資活動にて721百万円、財務活動にて980百万円使用した結果、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、10,499百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は1,781百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ291百万円の収入減少となりました。これは、仕入債務の減少額の増加などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は△721百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ316百万円の支出減少となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は△980百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ223百万円の支出増加となりました。これは、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出が発生したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました通期の業績予測を修正しております。なお、詳細につきましては、本日公表の「平成30年3月期第2四半期(累計)期間業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,466,152	10,546,676
受取手形及び売掛金	11,533,399	9,168,277
仕掛品	1,620,811	2,424,095
貯蔵品	80,531	97,826
繰延税金資産	1,187,617	1,222,772
その他	810,270	863,718
貸倒引当金	△4,185	△13,688
流動資産合計	25,694,597	24,309,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,619,464	1,525,884
器具備品(純額)	317,109	321,050
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産(純額)	647,704	607,835
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	4,582,434	4,452,926
無形固定資産		
のれん	117,603	88,703
その他	1,790,835	1,529,875
無形固定資産合計	1,908,439	1,618,578
投資その他の資産		
投資有価証券	3,327,529	3,675,852
繰延税金資産	669,526	669,449
退職給付に係る資産	1,329,708	1,499,635
その他	1,556,825	1,506,397
貸倒引当金	△1,358	△1,230
投資その他の資産合計	6,882,231	7,350,106
固定資産合計	13,373,105	13,421,611
資産合計	39,067,703	37,731,288

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,065,129	2,288,951
短期借入金	2,200,000	2,200,000
リース債務	271,637	254,771
未払法人税等	733,468	266,709
賞与引当金	1,778,428	1,772,353
ポイント引当金	1,218,749	1,341,823
役員賞与引当金	17,000	—
株式給付引当金	1,969	—
その他	2,713,402	2,418,535
流動負債合計	11,999,786	10,543,145
固定負債		
リース債務	448,247	419,650
株式給付引当金	76,533	76,428
退職給付に係る負債	2,763,744	2,797,649
その他	7,420	8,364
固定負債合計	3,295,946	3,302,093
負債合計	15,295,732	13,845,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,400	1,681,400
資本剰余金	1,336,599	1,151,864
利益剰余金	19,651,240	19,955,685
自己株式	△207,238	△200,946
株主資本合計	22,462,001	22,588,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	589,190	601,228
為替換算調整勘定	390,463	371,242
退職給付に係る調整累計額	115,985	119,132
その他の包括利益累計額合計	1,095,640	1,091,602
非支配株主持分	214,329	206,443
純資産合計	23,771,971	23,886,050
負債純資産合計	39,067,703	37,731,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	21,448,361	22,941,774
売上原価	15,674,476	16,442,220
売上総利益	5,773,885	6,499,553
販売費及び一般管理費	4,400,540	5,228,929
営業利益	1,373,345	1,270,624
営業外収益		
受取利息	1,673	6,936
受取配当金	38,858	228,265
持分法による投資利益	1,055	35
その他	10,389	51,292
営業外収益合計	51,977	286,530
営業外費用		
支払利息	15,549	9,333
投資事業組合運用損	4,216	66,412
為替差損	27,097	3,083
その他	8,410	9,299
営業外費用合計	55,274	88,129
経常利益	1,370,049	1,469,025
税金等調整前四半期純利益	1,370,049	1,469,025
法人税等	477,569	521,557
四半期純利益	892,479	947,468
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,780	△60,926
親会社株主に帰属する四半期純利益	914,260	1,008,394

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	892,479	947,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127,850	12,037
為替換算調整勘定	△233,174	△25,086
退職給付に係る調整額	11,672	3,146
持分法適用会社に対する持分相当額	—	124
その他の包括利益合計	△93,651	△9,778
四半期包括利益	798,828	937,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	843,043	1,004,356
非支配株主に係る四半期包括利益	△44,215	△66,667

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,370,049	1,469,025
減価償却費	699,049	701,860
のれん償却額	42,875	29,651
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△117,830	△169,927
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,871	34,321
賞与引当金の増減額(△は減少)	101,194	△6,086
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,744	△17,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,616	9,375
ポイント引当金の増減額(△は減少)	83,881	123,073
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△3,144	△2,075
受取利息及び受取配当金	△40,532	△235,202
持分法による投資損益(△は益)	△1,055	△35
支払利息	15,549	9,333
投資事業組合運用損益(△は益)	4,216	66,412
売上債権の増減額(△は増加)	2,365,478	2,343,314
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,160,109	△824,454
仕入債務の増減額(△は減少)	△310,878	△801,511
未払消費税等の増減額(△は減少)	△182,366	△143,640
その他	540,782	△73,927
小計	3,429,669	2,512,508
利息及び配当金の受取額	40,464	235,186
利息の支払額	△15,482	△6,224
法人税等の支払額	△1,381,518	△960,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,073,132	1,781,299

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,226	△870
有形固定資産の取得による支出	△414,192	△66,565
無形固定資産の取得による支出	△284,065	△316,502
投資有価証券の取得による支出	△262,541	△401,042
関係会社の清算による収入	—	66,163
貸付けによる支出	△23,050	△1,300
貸付金の回収による収入	445	1,478
差入保証金の差入による支出	△19,635	△9,184
差入保証金の回収による収入	5,335	7,527
その他	△185	△941
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,038,116	△721,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,033,230	2,000,000
短期借入金の返済による支出	△2,000,000	△2,000,000
リース債務の返済による支出	△160,389	△152,354
非支配株主からの払込みによる収入	22,831	101,840
自己株式の取得による支出	△65	△110
配当金の支払額	△652,007	△701,887
非支配株主への配当金の支払額	△434	△293
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△227,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△756,836	△980,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143,275	1,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	134,904	81,631
現金及び現金同等物の期首残高	9,812,498	10,418,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,947,402	10,499,981

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるINTAGE VIETNAM LIMITED LIABILITY COMPANYの株式を追加取得いたしました。また、当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社IXTは第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が184,734千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,151,864千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	13,828,550	5,098,508	2,521,303	21,448,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,828,550	5,098,508	2,521,303	21,448,361
セグメント利益	542,234	715,162	115,948	1,373,345

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	14,806,869	5,388,452	2,746,452	22,941,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,806,869	5,388,452	2,746,452	22,941,774
セグメント利益	460,444	635,016	175,163	1,270,624

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成29年8月10日開催の取締役会決議に基づき、平成29年10月1日付で株式分割を実施いたしました。

1. 目的

株式分割をおこない、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的とするものです。なお、今回の株式分割による資本金の額の変更はありません。

2. 株式分割の割合及び時期：平成29年10月1日付をもって平成29年9月30日の株主名簿に記録された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

3. 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	20,118,000株
今回の分割により増加する株式数	20,118,000株
株式分割後の発行済株式総数	40,236,000株
株式分割後の発行可能株式総数	148,000,000株

4. 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における1株当たり情報の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益(円)	22.90	25.25